

雫石町コミュニティ・スクール通信

雫石町教育委員会 令和8年 3月発行

雫石中家庭部×食の匠×農林課×社会福祉協議会 ～郷土食の伝承と見守り活動～

雪んこ見守り隊の訪問先へ、手打ちそばのおすそ分け

2月28日(土)、雫石中家庭部9名は雪んこ見守り隊の訪問先のおいさん、おばあさんに届けるために手打ちそば作りを行いました。8時半から、雫石町農業者トレーニングセンターで、地域の方々から手ほどきを受けながら二八蕎麦を打ちました。雫石産のそば粉16kgを使用し、薄力粉2:そば粉8の割合で混ぜて練りました。麺棒を使い、手際良くそばを延ばし、折りたたんで切る作業を部員達は分業で行い、60食の振舞い用のそばを用意しました。午後は社会福祉協議会が主催する雪んこ見守り隊に合流し、各地区に分かれた隊員を通じて訪問先に届けました。

この活動は、食の匠伝承セミナーの受講者が、雫石中の家庭部に雫石の食文化を知って欲しいという思いから、農林課を通じてそば打ち体験をしてみないかと声をかけたのがきっかけです。そのそば打ち体験が楽しく、家庭部の活動として年越しそば作りを行いました。年末は部活動の時間をとるのが難しいという課題がありました。そこで雪んこ見守り隊の最終活動日にそばを届ける形になり、今年で3回目になります。(そばは細長い形状から、長寿を祈る縁起物でもあります)

顧問の及川美幸^{おいかわみゆき}教諭は「古き良き時代の食文化を通して、地域にありがとうを伝えられる活動。中学生の世代が打ったそばということも意味がある。生徒たちにとって体で覚える財産になる。将来、食の匠になって地域の味を伝承して欲しい」と話しました。



パッケージも家庭部が考案

そば打ち、振舞いに関わった地域の方々

◎そば打ち指導

櫻田シゲ子さん(岩手県食の匠)、
桐山桂子さん、笹川純子さん、
農業者トレーニングセンター西村さん、
農林課、家庭部OG他

◎雪んこ見守り隊

社会福祉協議会、中学生・高校生・地域
ボランティア

※(有)雫石ソバ産業のそば粉を使用

去年もいただいたけど、
とっても美味しいおそば
だったよ♪



私たちが作ったそばです。
本日に召し上がってくだ
さいね!

令和7年度

雫石町コミュニティ・スクール意見交流会開催

2月27日(金)、中央公民館にて雫石町コミュニティ・スクール意見交流会を開催し、各学校が実践発表をして意見交流を行いました。

今年度は地域の方にも呼びかけて「熟議」を行った学校も増え、児童生徒や地域への影響や、先生方に負担をかけない実践の仕方などの発表がありました。

秋田大学講師の皆川雅仁みながわまさひとさんに講評をいただき、コミュニティ・スクールとして地域と一緒に子どもたちを育てることが、やがて学校を核とした地域づくりにも繋がっていくことを教えていただきました。



校長先生と週4ペースで連絡を取りながら話を詰めていった。計画的ではない(笑)

御明神小学校6年生 道の駅雫石あねっこ、しずく庵を盛り上げたい!

PRポスター・POP・キャラクター完成

しずく庵のそばをイメージしたそば大将

御明神小学校6年生9名は「道の駅雫石あねっこ」と「しずく庵」のポスターやPOPを作成し、2月9日(月)に納品・掲示を行いました。児童は、商品や施設をPRするユニークなキャラクターも考案し、雫石あねっこの大橋良二社長おおはしりょうじは「ぜひ施設内で活用させてもらいたい」と話しました。しずく庵にはメニューの美味しさをイメージさせるようなポスターとPOPを届けました。その様子はIBC岩手放送の夕方のニュースと、岩手日報の紙面でも取り上げられました。



あねっこの温泉をイメージした湯太郎



虹色パークキャンプ場をイメージしたキャンプ隊長



役場1階ロビー・中央公民館ふれあい広場

雫石中まごころおはがき年賀状展から



生徒会が選んだ入選作57点を展示しました



生徒たちに届いたお年寄りからの年賀状も展示